

大競争時代における 新たな産学官連携の取り組み

問題提起

生駒俊明
東京大学名誉教授

産学連携の新たな局面

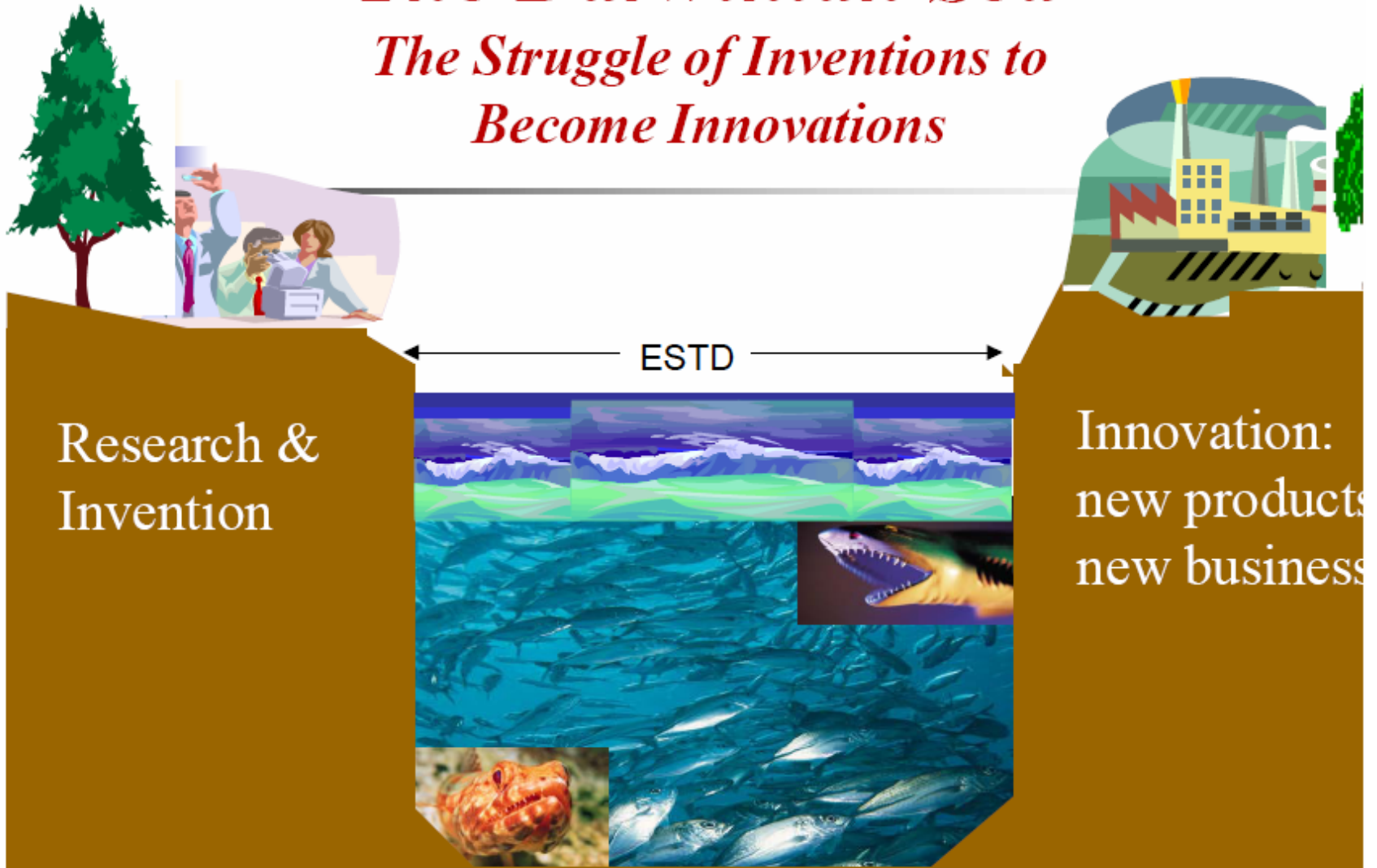
- 産学連携は手段、目的ではなかった筈
- では目的は？
 - 大学発の革新技術による経済活性化
「イノベーション」 「研究開発型ベンチャー」
 - 大学の活性化
 - 研究面では：「産業界ではできないが、必要な研究」
 - 教育面では：「産業界で役に立つ人材育成」
 - 経営面では：「産業界が支援」

イノベーション

- 新しい着想、技術、プロセスなどを用いて新しい商品(財、サービス)を作り市場に投入し、経済的価値を生み、生活の質の向上に資するすべての活動
- 産学連携で「ダーウィンの海」を越させる

The Darwinian Sea

The Struggle of Inventions to Become Innovations



“Struggle for Life” in a Sea of Technical and Entrepreneurship Risk

イノベーション

- 新しい着想、技術、プロセスなどを用いて新しい商品(財、サービス)を作り市場に投入し、経済的価値を生み、生活の質の向上に資するすべての活動
- 産学連携で「ダーウインの海」を越させる
- 技術移転、ベンチャーなど様々な形を成功例とする